

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



平成27年12月14日（月）～平成27年12月20日（日）〔第51週〕の感染症発生状況

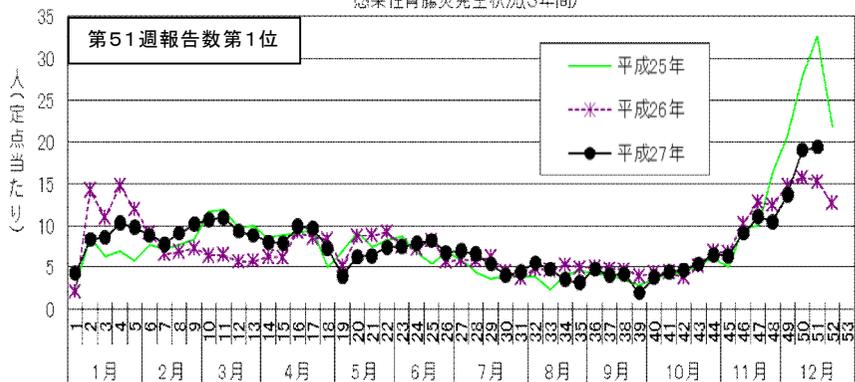
第51週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 水痘でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は19.39人と前週（19.06人）からほぼ横ばいで、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

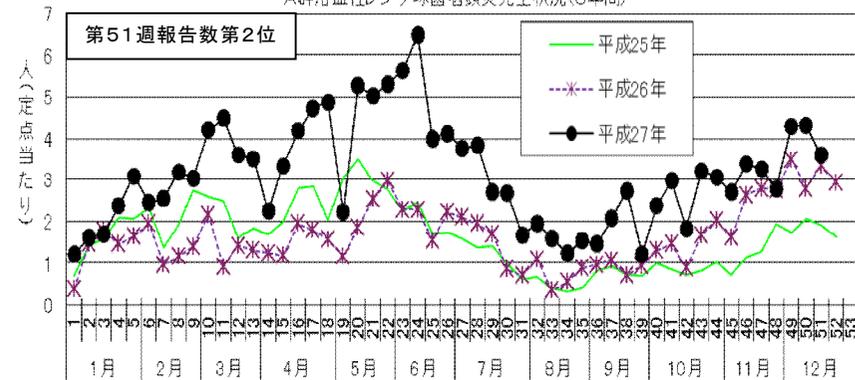
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.61人と前週（4.31人）から減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。

水痘の定点当たり患者報告数は1.24人と前週（1.03人）からやや増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



油断は禁物！～麻しん(はしか)にもご注意を～

川崎市では、第50週（平成27年12月7日～13日）に麻しん患者が1名報告されました。平成27年3月、世界保健機関（WHO）により、日本は「麻しんの排除状態」と認定されましたが、海外からの持ち込みを中心に、少数ながらもまだに麻しん患者は報告されています。

引き続き、麻しん・風しん混合ワクチン（MR ワクチン）の定期予防接種対象者は、忘れずに接種を受けましょう。



麻しん(はしか)ってどんな感染症？

感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染

潜伏期間：10～12日（最長21日程度）

症状：発熱、咳、鼻水など風邪のような症状で始まり、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

肺炎や中耳炎を合併しやすく、脳炎など重篤な疾患を併発することもあります。

治療・予防：対症療法が中心となり、ワクチンによる予防が最も重要です。

麻しん・風しん(MRワクチン) 予防接種

定期予防接種対象者

第1期 接種日が生後12月から生後24月に至るまでの間にある者

第2期 接種日が小学校入学前の1年間（4月1日～翌年3月31日）

接種回数

第1期及び第2期
ともに1回

接種場所

市内約300施設の医療機関で受けることができます。

自己負担金

なし（無料）

※詳細は、お住まいの区役所保健福祉センター（保健所）地域保健福祉課にお問い合わせください。